

2025年度日系社会研修（多文化共生推進／日系協力型） 日系サポーター コース概要

NO	11
所管センター	北陸
分野	行政・教育
研修コース名（日）	多文化共生推進支援
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2025年11月29日（土）
提案団体（日）	小松市国際交流協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	http://39kia.jimdo.com/
研修員必要資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ Word、Excel、PowerPoint等の基本的なパソコンスキル ・ 日常会話程度の英語力があれば尚よし
研修員に必要な実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N3
ポルトガル語 スペイン語能力	ポルトガル語（母語）
研修目標	日本の行政サービスや外国人支援策及び多文化共生の現状を理解し、受け入れ側（日本）の在住外国人への最適な支援を考えるとともに、外国人が来日前にしておくべき準備や知っておくべき情報、永住化を見据えた準備・心構え等はなにかを考え提案する。また、地域住民への多文化理解事業を実施することにより、相互理解を深め、多文化共生社会の推進に寄与する。
期待される成果 （習得する技術）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の行政における外国人支援策や多文化共生の現状、教育システムなどについて理解し、母国との違いについて学ぶ。 ・ 外国語としての日本語の教え方、外国籍児童・生徒に対する学習支援方法などを習得する。 ・ 研修成果を生かし、母国における日本語教育の指導向上や、来日前の情報提供・アドバイスを旨とする。

<p>研修計画（内容）</p>	<p>講義：県内・市内外国人及び外国籍児童受入、日本の教育システム、外国人支援施策など 見学：外国人支援施策課、外国人支援団体、日本語教室、外国籍児童・生徒に対する学習支援など 実習：市役所・外国人支援団体でのサポート、地域住民に対する多文化理解事業など 報告：日本と母国との比較について報告し、関係者との意見交換を行う 発表：研修成果の発表</p>
<p>研修実施の背景／日本国内の中南米出身者のコミュニティにおける現状、多文化共生等課題解決を推進するにあたっての問題・現状等</p>	<p>石川県内で最も日系人が多く在住する小松市では（市内外国人の約40%がブラジル人）、日本で家庭を持ち、子どもが生まれ、家を購入するなど近年日系人の永住化が進んでいる。様々な行政サービス、外国人支援策などがあるが日本語の理解が十分でない、サービスや制度そのものを知らない等の理由から本来であれば受けられるサービスを受けられなかったり、不利益を被る可能性もある。また、既存の行政サービスや支援策が、日系人を含む在住外国人のニーズにあっているのかを検証する必要もある。今後はますます永住化が進むことが予想され、多文化共生社会の推進を図るために、生活・教育・労働など様々な分野において受入体制強化の必要性がある。</p>
<p>本研修実施の意義 応募者への裨益効果</p>	<p>本研修では、研修員は小松市役所内にある「外国人サポートデスク」や、小松市国際交流協会に設置されている「外国人くらしの相談窓口」にて相談対応のサポートをする予定である。また、在住外国人へヒアリングを実施しリアルな相談・課題・困りごとを知り、対応することにより日本で生活するうえでの在住外国人が抱えるこれらの解決方法などを学び、これから来日を考えている日系人へ出発前のアドバイスをするなど自国で生かすことができる。さらに母国と日本の行政サービスや制度、教育システム、文化的背景などの違いについて報告をしてもらい、改善点などを提言して頂く。</p>
<p>応募希望者への特記事項</p>	